

THEIR LIVES WERE TOO SHORT

生命のメッセージ展

この靴をはいて
あの日
元気に出かけて行った



「生命のメッセージ展」で蒔く種は
人々に育まれ受け継がれ
その実は生きる喜びに満ちあふれ
未来の生命の糧となる
つながれ つながれ いのち

メッセンジャーは無言の語り部
断ち切られた生命たちが伝える
千の時を越えて輝く
かけがえのない生命の尊さ
つながれ つながれ いのち

生命のメッセージ展 in 出雲

2008・9・12(金)～14(日) ビッグハート出雲

入場
無料



映画「O (ゼロ)からの風」
突然奪われた息子の命…。
母親は、厳しい現実と
闘い続けた (田中好子、杉浦太陽 他)
生命のメッセージ展代表である鈴木共子
氏をモデルとした映画です。映画上映の
純益金は生命のメッセージ展の運営に充
てられます。一人でも多くの人に鑑賞し
ただくことで、子供たちの未来に命の大
切さを伝えることに繋がります。全国の上映
会場で鑑賞できるチケットをメッセージ展
会場にて販売中!

主催

生命のメッセージ展、生命のメッセージ展 in 出雲

後援

島根県、島根県教育委員会、島根県警、出雲市
出雲市教育委員会、斐川町、斐川町教育委員会
島根県立大学、島根県立大学短期大学部
島根大学医学部、島根県社会福祉協議会
島根県共同募金会、出雲商工会議所
島根被害者サポートセンター
自助グループ「ひまわりの会」
全国交通事故遺族の会、報道各社
「O (ゼロ)からの風」製作上映実行委員会

協賛

出雲市市民活動支援事業、出雲メセナ協会支援事業

協力

島根県警備業協会、島根トヨタ自動車、島根富士通
島根島津株式会社、(株)丸三、(株)中筋組
アート引越センター(メッセンジャー送迎協力)
「生命のメッセージ展」
「O (ゼロ)からの風」製作上映実行委員会

スケジュール 映画は白のホール、展示はアートギャラリー

12日(金)	古代笛11:00	講演13:00	映画15:00	映画18:30
	展 示 9:30～21:00			
13日(土)	映画10:30	コンサート4:00	映画15:00	
	展 示 9:30～18:00			
14日(日)	映画10:30	合唱・演奏13:30	映画15:00	
	展 示 9:30～18:00			

映画鑑賞券(1000円)は、事務局までお問い合わせください。

また当日会場でもお求めできます。



上記3駐車場(駅南、駅北、高架下)のみ駐車料金は
無料となります。駐車券を受付までお持ちください。

〒693-0008 島根県出雲市駅南町1丁目5番地

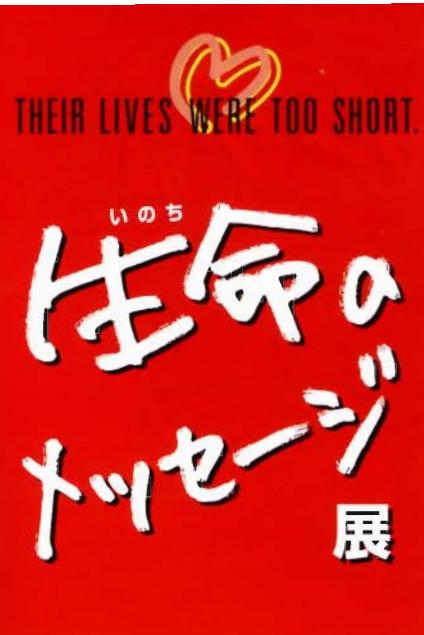
TEL 0853-20-2888

FAX 0853-30-0890

携帯電話で、場所を確認。

「生命のメッセージ展 in 出雲」お問い合わせ:
0853-72-8379(事務局 江角弘道)

HP: www.mariko-inochi.com/inizumo/



いのち 生命の メッセージ 展

生命のメッセージ展の足跡

2001~2007

東京都八重洲広場	静岡県浜松市
神奈川県座間市	大阪府門真市
奈良県生駒市	奈良高専学園祭
大阪市阿倍野区	山口県防府市
神奈川県横浜市	北海道札幌市
神奈川県川崎市	栃木県宇都宮市
千葉県千葉市	秋田県秋田市
国会	高知県高知市
長崎県長崎市	熊本県熊本市
滋賀県大津市	長野県長野市
愛知県名古屋市	静岡県静岡市
青森県青森市	和歌山県和歌山市
早稲田大学	三重県津市
岐阜県高山市	広島県広島市
群馬県高崎市	三重県益世小学校
三重県鈴鹿国際大学	東京都福城市
茨城県水戸市	神奈川県平塚市
栃木県宇都宮市	宮崎県宮崎市
大阪市南港	東京都丸の内
埼玉県鶴ヶ島市	福岡県前原小学校
滋賀県近江八幡市	

2008~ 開催地

沖縄県那覇市	愛知県弥富市
埼玉県川越市	埼玉県川口市
北海道札幌市	群馬県前橋市
千葉県千葉市	島根県出雲市
石川県金沢市	愛媛県松山市
東京都日野市	福岡県福岡市
京都産業大学	早稲田大学

「生命のメッセージ展」とは、犯罪・事故・いじめ・医療過誤・一気飲ませなどの結果、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。

犠牲者ひとりひとりの等身大の人型パネル、その足元に「生きた証」である靴、そして遺された家族の言葉などのメッセージを通して、犯罪被害者・遺族の人権を訴えると共に、「生命の重み」を伝えています。

私たちは生命が暴力的に奪われることのない、生命をしっかり守ることの出来る社会の実現を夢見ているのです。

「生命」とは「命が生まれる」「命を生きる」、人型となった犠牲者たちは、「生命の重み」を伝えるメッセンジャーとなって生きているのです。

「生命への愛おしさを赤い毛糸に 託してつなげてください」

10センチの毛糸を結んでできた毛糸玉は、今では直径50センチを越えました。「生命のメッセージ展」のシンボルになっています。



「生命のメッセージ展」では ボランティア・協賛者・寄付金を広く募集しています。

詳しくはホームページをご覧下さい。

<http://www.inochi-message.com/>

寄付金は下記に記載の郵便振替口座で受け付けています。
郵便振替口座番号：記号 10240 番号 95924521
口座名義：生命のメッセージ展実行委員会



「いのち・未来へ」



人型パネルに書かれたメッセージ文をまとめたものです。会場では読みきれなかったメッセージも含めて改めて受止めで下さい。そして、あなたの周囲に生きたくても生きることの出来なかつた人の存在を伝えてください。メッセージ展関連会場にて販売、売り上げは活動資金になります。

講演会とイベント

2008年9月12日(金)

11:00~11:30

古代笛演奏(樋野達夫氏)

13:00~14:00

井上保孝・郁美氏講演「東名高速酒酔いトラック事故で子供2人を失って~飲酒運転を撲滅するために~」

2008年9月13日(土)

14:00~14:30 六子コンサート

2008年9月14日(日)

13:30~14:30

斐川西中合唱部＆フルートとピアノ演奏
(松田吉正・松田美紀氏)

いのち 生命のメッセージ展 in 出雲

2008.9.12(金)~14(日) ビッグハート出雲

~やさしい心に
つつまれて~

入場
無料



「生命のメッセージ展 in 出雲」
知事メッセージ

島根県知事
溝 口 善兵衛

誰もが安全に安心して暮らせる社会の実現は、私たち共通の願いです。

「生命のメッセージ展」では、犯罪や交通事故等で理不尽に尊い命を奪われた方々の生きた証がアートとして表現され、生命はかけがえのないものであることを、静かに、そして力強く私たちに語りかけています。

この「生命のメッセージ展」が、生命の尊さを実感し、安全で安心して暮らせる社会の大切さを考えるきっかけとなりますよう願っています。



「我々すべてが
生命のメッセンジャー」

出雲市長
西 尾 理 弘

生命の尊さ・大切さを伝えることは、今を生きる我々すべての責務です。

決して「他人ごと」ではすまされない幾多もの生命のメッセージ。

不幸にして失われたかけがえのない生命が、我々すべてを結ぶ絆(きずな)となって、悲惨な事件・事故などが無い安全で安心なまちづくりがひろがり、そして次世代へ引き継がれていくことを心から願っています。



「見えるいのちと見えないいのち」
~生命のメッセージ展 in 出雲に寄せて~

斐川町長
勝 部 勝 明

ひとつのいのちが生まれる。そのいのちのために、どれくらいのいのちが受け継がれてきたのかを想うとき、私たちは生命の尊さを感じずにはいられません。

しかしながら、理不尽な事故・事件が、毎日のようにかけがえのない命を奪っている現実があります。

安全で安心して暮らすことのできるまちをめざして私たちができること、それは、今を生きる一人ひとりが、見えないいのちが語りかけるメッセージを、ひとりでも多くの方たちに伝えていくことではないでしょうか。